

令和7年10月21日

関係国公立大学長
関係機関の長 殿

高知大学教育研究部総合科学系
地域協働教育学部門長 大槻知史〔公印省略〕

教員公募について（依頼）

このたび、高知大学総合科学系地域協働教育学部門では、下記の要領により教員公募をいたしますので、関係の方々に周知いただくとともに、適任者の応募について、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

なお、地域協働学部では、現在、令和9年4月を目途に新たな学科を設置する準備を進めており、本公募による採用者は、新学科の基幹教員として、設置準備の対象となります。

記

1. 職名・人員 講師1名
任期5年（再任可。再任後は任期を付さない。）
2. 担当学部等 地域協働学部
大学院総合人間自然科学研究科修士課程地域協働学専攻
3. 専門分野 公共政策、地方行財政、まちづくり、公共創生
4. 担当授業科目 学部：公共政策論、地域協働論、地域協働総合実習Ⅰ～Ⅳ、地域協働実践・卒業研究、共通教育科目等
大学院（修士）：公共政策特論、公共政策特論演習、地域協働ゼミナールⅠ～Ⅳ、地域協働実践演習（大学基礎論、課題探求実践セミナー、学問基礎論）等
5. 応募資格・条件
 - （1）博士の学位を有する者（あるいはそれに相当する業績があること）
 - （2）公共政策、地方行財政、まちづくり、公共創生に関する幅広い学術的知見と実践的経験を有し、それらに関する研究成果や地域実践の業績を踏まえて、地域における行政や住民等との協働に継続的に取り組んだ実績を有する者。
 - （3）地域協働学部の教育システムを理解して学生の教育に熱意をもって取り組み、研究や地域貢献、学部運営に積極的に参画すること。
 - （4）全学的な教育プログラムのみならず、全学的な活動全般に積極的に参加・協力する意思があること。
 - （5）在職中は、科学研究費助成事業を含む外部資金に代表者として応募することが望ましい。
 - （6）採用後は、新任教員研修を受講すること。
 - （7）採用後は、高知市内あるいはその近辺に常駐が可能であること。
6. 応募期限 令和7年11月21日（金）（17時必着）
7. 採用予定日 令和8年10月1日
8. 選考方法 （1）第一次選考：提出された書類により複数の候補者を選考する。

- (2) 第二次選考：一次選考を通過した候補者について必要と認められる場合は、上記 3 の専門分野に関する模擬授業及び面接を行い、教育能力及び研究能力を審査する。

二次選考の実施日は令和 7 年 1 2 月 1 3 日（土）を予定しており、対象となられた方には令和 7 年 1 2 月 2 日（火）17 時までに E-mail にて実施方法を含めた詳細を連絡いたします。（旅費は自己負担）

9. 提出書類 (1) 履歴書（様式 1）

(2) 教育研究業績書（様式 2）

(3) 上記に記された全ての著書、論文掲載誌またはその抜刷等（コピー可）

(4) 今後の研究・教育についての計画と抱負（1200 字以内）

(5) その他、必要と認める書類等の提出を後ほど求めることがある。

※ 提出書類の(1)及び(2)の様式 1・2 は、本学のホームページからダウンロードすること。<http://www.kochi-u.ac.jp/outline/other/saiyou/>

※ 審査終了後に(3)は返却するので、応募書類返送用封筒（返送先明記）を同封すること。

10. 提出先 〒780-8520 高知市曙町二丁目 5 番 1 号

高知大学教育研究部総合科学系地域協働学部門 教授 内田純一 宛

なお、提出書類は「書留」とし、封筒に「教員応募（地域協働学部）関係書類在中」と朱書きのこと。

11. 給与等 年俸制を適用。給与は「国立大学法人高知大学年俸制適用職員給与規則」による。

12. その他 高知大学男女共同参画推進室（<http://www.kochi-u.ac.jp/sankaku/>）では女性研究者支援を推進しており、教員公募における女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

13. 照会先 ご不明な点の問合せ先：高知大学教育研究部総合科学系地域協働教育学部門
内田純一（e-mail : uchida@kochi-u.ac.jp）